|1| 次の計算をしなさい。(各3点)

① 6-(-7)

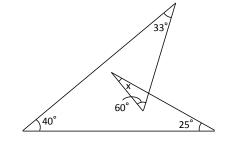
②
$$6-(-2)^2 \div \frac{4}{9}$$

③
$$3(a-b)-(-2a+4b)$$

(5)
$$\sqrt{45} - \frac{20}{\sqrt{5}}$$

2 次の問いに答えなさい。(各4点)

- ① $y \, \mathrm{d} x \, \sigma \, 2$ 乗に比例し、 $x = -3 \, \sigma \, \mathrm{d} z \, \mathrm{$
- ② n を正の整数とする。 $\sqrt{45n}$ が整数となる n の値のうち、もっとも小さい n の値を求めなさい。
- ③ 比例式 2:5=(x-2):(x+7) をみたすxの値を求めなさい。
- ④ 右の図の $\angle x$ の値を求めなさい。



⑤ 2つの2元1次方程式を組み合わせて、x=3, y=-2が解となる連立方程式をつくる。このとき、 組み合わせる2元1次方程式はどれとどれか。次のア~エから2つ選び、その記号を書きなさい。

$$\mathcal{T}$$
 $x + y = -1$ \mathcal{T} $2x - y = 8$

$$2x - y = 8$$

ウ
$$3x - 2y = 5$$
 エ $x + 3y = -3$

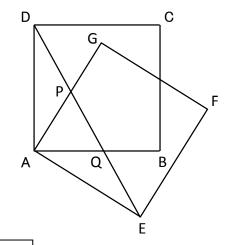
$$x + 3y = -3$$

- ③ 図で、正方形 AEFG は、正方形 ABCD を、頂点 A を回転の中心として、時計の針の回転と同じ向きに回転移動させたものである。また、P, Q はそれぞれ線分 DE と辺 AG, AB との交点である。このとき、AP=AQ となることを次のように証明したい。 Π , Π に当てはまる最も適当なものを、次のア~カまでの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。また、 α に当てはまる数を書きなさい。ただし、回転する角度は α 0 より小さいものとする。なお、 α 2 か所の α 0 には同じ数字が当てはまる。(各 3 点)
 - (証明) \triangle ADP \Diamond \Diamond AEQ で、AD \Diamond AE は同じ大きさの正方形なので、AD=AE ・・・①

①から、 $\triangle AED$ は二等辺三角形なので、 $\angle ADP = \boxed{1}$ ・・・② また、

$$\angle PAD = \boxed{a}^{\circ} - \angle PAQ,$$
 $\angle QAE = \boxed{a}^{\circ} - \angle PAQ \downarrow \emptyset,$
 $\angle PAD = \angle QAE \cdot \cdot \cdot \cdot \circlearrowleft$

①, ②, ③から、 Ⅲ ので、△ADP≡△AEQ よって、AP=AQ



- \mathcal{T} . $\angle AQE$ \forall . $\angle AEQ$ \forall . $\angle EAQ$
- エ. 1組の辺とその両端の角が、それぞれ等しい
- オ. 2組の辺とその間の角が、それぞれ等しい
- カ. 2組の角がそれぞれ等しい
- 4 右のグラフは関数 $y = x^2$ で、点 A,B,C の座標はそれぞれ(-3, 9),(-2, 4),(1, 1) である。 また、四角形 ABCD が平行四辺形となるように y 軸上に点 D をとる。このとき、次の問いに答えなさい。
 - ① 点 D の座標を求めなさい。(3 点)
 - ② 平行四辺形 ABCD の面積を求めなさい。(4点)
 - ③ 点(3,3)を通り、平行四辺形 ABCD の 面積を2等分する直線の式を求めなさい。(4点)
 - ④ 点 P を関数 $y = x^2$ のグラフ上にとる。 \triangle OBC の面積と \triangle OAP の面積の比が、1:5 となるときの点 P の座標を求めなさい。ただし、点 P の x 座標は正とする。(5 点)

